

講義名称	新島襄	担当教員名	山本 有紀
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	キリスト教	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	HUM111

授業のキーワード	新島襄・建学の精神・キリスト教主義教育
授業の概要	①本学の建学の精神と深く関わる新島襄の生涯と思想、またその影響について学ぶ。②新島の活動の背景となる時代について学ぶ。③安中教会及び安中市へ「新島の足跡を辿る」フィールド・トリップを実施。
期待される学習成果 (目標)	①新島襄の生涯と思想について理解を深める。②新島襄という歴史的存在と、「キリスト教主義教育」を掲げる本学の使命、またそこで学ぶ私たちとの間の関係性を見出す。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方、各課題、評価の方法などを説明する。
2	新島の生きた時代①	新島の活動の背景となる日本近代初期の様子について学ぶ (幕末編)。
3	新島の生きた時代②	新島の活動の背景となる日本近代初期の様子について学ぶ (文明開化編)。
4	誕生から脱国まで	新島の誕生から国禁を犯して脱国するまでの経緯を見る。
5	アメリカ到着から牧師になるための学びへ	アメリカでの新島の学びと、明治政府の欧米視察団との出会いまでの経緯を見る。
6	帰国から、学校設立へ	同志社英学校設立の経緯について学ぶ。
7	フィールド・トリップ	安中教会、及び安中市内へ「新島の足跡を辿る」デイト・リップを実施 (日曜日)。
8	熊本バンド、来たる	熊本バンドについて、また教育者としての新島の姿勢が現れる「自責の杖」事件について学ぶ。
9	大学設立への道	新島の大学設立運動について学ぶ。
10	新島を囲む人間群像	宣教師や新島八重、賛同者たち、また湯浅治郎と中教会に関わる人たちについて紹介する。
11	新島の死	教育者・牧師としての新島の生き様を考える。
12	私たちの学園と新島の遺産	新島の教育観、信仰、生き方が私たちに問いかける事柄について考察する。
13	学期の学びとまとめ①	図書館の資料検索の後、レポートのテーマについてブレイン・ストーミング。
14	学期の学びとまとめ②	レポート作成に向けて、各自のテーマを発表し、参考文献などについて指導する。
15	学期の学びとまとめ③	参考文献表を持ち寄り、先週以降のレポート準備の進捗を発表する。

定期試験	各自がテーマを選び、レポートを作成・提出をもって試験に代える。
授業時間外学習	①次回授業で扱う教科書部分の読書 ②次回授業で取り扱う資料を購読 ③レポート作成に向けての発表などの準備
評価方法	①フィールド・トリップへの参加貢献 10% ②フィールド・トリップ・レポート 20% ③期末課題 70%
使用する教科書 (必ず購入してください)	①富田正樹・山本真司「新島襄物語：良心へ向かう志」新教出版社 (2006年) ②必要に応じてプリント等を配布。
参考文献	①同志社編「現代語で読む新島襄」丸善 (2000年) ②「新島襄の手紙」岩波文庫 (2005年) ③本井康博「新島襄と建学の精神」思文閣出版 (2006年) ④「新島襄検定100問」コトコト (2008年)